

議事概要

会議名	平成28年度 第2回玉名市玉名圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会
日時	平成29年1月18日（水曜日） 18:00 ～ 19:55
場所	玉名市役所 4階会議室
出席者	玉名圏域共生ビジョン懇談会 委員（14人出席、4人欠席） 玉名圏域定住自立圏推進会議幹事会 幹事（3人出席）、同分科会（8人出席） 熊本県職員（3人出席） 関係町職員（3人出席） 事務局職員（3人出席） 計 34人出席 ※ 詳細は、資料「出席者名簿」のとおり
資料	① 次第 ② 出席者名簿 ③ 資料1 玉名圏域定住自立圏共生ビジョン（案） ④ 資料2 圏域の将来像（案） ⑤ 資料3-1 具体的な取組（事業）の一覧 ⑥ 資料3-2 具体的な取組（事業）の協議内容

内 容	
1 開会	※ 松田課長が進行
2 会長挨拶	・澤田会長から、開催が予定よりも遅れたこと、今会議で圏域の将来像を固めたいこと、具体的取組に専門的見地からも意見をいただきたいこと、など挨拶。
3 議事	・澤田会長が進行 (1) 定住自立圏共生ビジョンの策定状況について 現在策定を進めている共生ビジョンについて、資料1「玉名圏域定住自立圏共生ビジョン（案）」により記載内容等の状況を説明。（説明：事務局 石貫） ・全体の構成は、前回共生ビジョン懇談会で説明したとおり。 ・目次の大項目に沿って、掲載する内容について簡単に解説。いくつかの項目や、具体的な取組（事業）、資料編などは作成中又は協議中で、策定途上のものであるが、委員の皆さまと一緒に策定している共生ビジョンの完成型イメージを把握していただければよい。 《質疑・意見交換》 委員から、「長洲町が参加していないこと」や「教育分野における取組が図書館相互利用の1事業だけであること」について質問があった。 (2) 定住自立圏共生ビジョン（構成案）について について、資料2「圏域の将来像（案）」を用いて説明。（説明：事務局 石貫）

- ・共生ビジョンの大まかな構成について、次のように説明。

前段で従来から結びつきが強い1市3町を取り巻く状況について、人口が減少しつづける将来推計も踏まえて言及し、圏域に住み続けるためには、1市3町が互いの独自性を尊重しながら役割を分担し、連携した取組の必要性を述べ、後段のまとめに繋げる展開。

後段では、圏域の資源や特性を活かして1市3町が連携して取組を進め、すべての住民が“ずっと住み続けたい地域”、“元気に安心して暮らすことができる地域”、“愛着と誇りを持てる自立した地域”を創造する、とした。

- ・また、中長期的な人口の目標も記載していることを説明。

《質疑・意見交換》

(会長) 中段の部分で、単語の接続が分かりにくいので、文言の整理が必要。

(事務局) 指摘の部分を整理した上で、次回の懇談会前に委員に提示したい。

【結論】 指摘事項を修正した内容をもって、圏域の将来像は了承する。

(3) 具体的な取組（事業）について

- ・資料3-1「具体的な取組（事業）の一覧」及び資料3-2「具体的な取組（事業）の協議内容」を用いて説明。(説明：事務局 松田)
- ・具体的な取組（事業）について、定住自立圏構想推進要綱（総務省）による政策分野や市町で締結した定住自立圏形成協定に記載された協定項目との関連を説明した後、現在関係市町で協議中のものも含め29事業の概要を説明。

《質疑・意見交換》

・1-1-① 乳幼児健診に従事する専門医の確保と健診の質の向上

(委員) 事業内容には無いが、「専門医の確保」は重要で、県への要望・働きかけなどの大きな取組が必要だと思う。

・1-1-①-1 乳幼児健診従事者研修会

(委員) 医療センターに小児科医がいないが、「玉名地域医療センターから講師を招く」とあり、どのように実施するのか。

→ 平成29年度から協議を開始するが、週1回勤務している小児科医にお願いしたいと考えている。また、平成30年度以降は、公立中央病院の小児科医等にもお願いする予定で考えている。(保健医療分科会)

・1-1-①-2 予防接種説明会の合同開催

(委員) 予防接種の委託医療機関に加入している長洲町の医療機関は説明会に参加できるのか。

→ 対象は、1市3町が業務委託契約を締結している医療機関であり、長洲町の医療機関が当該契約を締結していれば参加対象になる。

(会長) 事業には「健診」に関する取組が無いが、例えば特定健診は玉名郡市医師会のいずれの病院で受診してもよいが、このような取組は行わないのか。

→ 今後、検討する。(保健医療分科会)

・1-2-①-2 子育て支援センター及び子育てサークルの連携とネットワーク構築

(委員) 「2事業者が支払う」とあるが、どこか？

→ 子育てネットワークと大倉の森の2つの子育て支援センターである。(子育て分科会)

・1-2-①-4 ファミリーサポートセンターの連携及び人材育成

(委員) 玉東町は取組に参加していないのか。

→ 玉名市と玉東町が主催する24時間講習を相互に受講可能とする事業なので、修正する。(子育て分科会)

・1-2-②-1 認知症対策連携事業

(委員) 今後の10～15年で、ホームヘルパーが大量退職することから、その人材確保に関しても取り組んではどうか。

・1-3-①-1 玉名圏域図書館等相互利用事業

(委員) 他の市町の図書館を利用するには、どんな蔵書があるのかPRする必要があるのでは。ネットワークでカテゴリー別に紹介するような工夫をしてもらえないか。

→ ネットワーク化は、費用がかかるので考えていない。(事務局)

現在、玉名市で広報紙面で推薦図書を紹介しているが、そのような工夫を検討したい。(生涯学習分科会)

(委員) 例えば、南関町で借りて和水町で返却する、といった連携はできないのか。(会長)

→ 人員と費用が必要であり、回送業務は考えていない。(生涯学習分科会)

・1-4-①-1 新規就農希望者に係る研修受入可能な農業者名簿作成

(委員) 市町を超えて農地を貸し借りしている実態があるので、圏域における農地の情報提供についても取り組んでもらいたい。

・1-4-②-1 有害鳥獣捕獲推進事業

(委員) 狩猟免許保有者が減少している中で「合同捕獲」は難しい面もあると思うが、具体化に向けてどのように考えているか。

・1-4-②-2 有害鳥獣捕獲活用事業

(委員) 販売先の確保が重要であることから、肥料への活用も検討に入れてはどうか。

(委員) 県内の既存5施設はすべて県南にあり、圏域で早く実施してほしいと思う。ペットフードやジビエ料理などの先進事例の調査も実施してもらいたい。

・1-4-③-1 圏域地場企業への就労支援事業

(委員) 高校3年生を対象とした事業が提案されているが、ほかにも職場体験として1年生は地元の企業で実施し、また2、3年生は圏域内の企業で実施するような取組を行ってはどうか。

→ 協定書の内容に沿った事業であればビジョンの変更で対応できるが、取り組むのかも含めて分科会で検討する。(事務局)

・2-1-②-1 県道「玉名八女線」、「玉名立花線」の道路整備促進事業

・2-1-②-2 山部田奥野線(牧野小田線)整備促進事業

・2-1-②-3 東部環境センターへの搬入道路の整備

(委員) これらについては、場所がわかるように地図を掲載してもらいたい。

・2-2-①-1 路線バス維持のための運行補助事業

(委員) 掲載されている補助金額以外に補助は出していないのか。

→ 資料は玉名市のみ金額を入れたもので、最終的には、3町の補助金額(事業費)を記載することになる。(事務局)

(委員) 南関町では乗合タクシーが運行されているが、路線バスの維持に向けて、乗合タクシーを圏域で活用するような取組はできないか。

・2-2-①-3 交通実態調査事業

(委員) 交通弱者の移動は、現在はホームヘルパーや隣近所の協力で何とかなっているが、今後は維持できない可能性が高い。公共交通の利便性確保には、今後も力を入れてほしい。

・2-3-①-1 定住相談会の合同開催事業

(委員) 介護難民が将来「57万人」に達するという話もあるが、東京等の主要都市部で移住促進

事業を実施するという事は、このような事態を念頭に置いた取組なのか。

→ 特別に高齢者をターゲットとして取り組むものではない。(事務局)

(委員) 関係市町には、移住者に対する補助制度等はあるのか。また、東京等における出展も良いが、メディアを活用した方が効果があるのではないか。

→ 本市にも家を建てて移住した方に100万円補助などの制度があり、圏域内にも内容は違うが補助や支援がある。また、メディアの活用の有効性は理解するが、予算の制約もあるが、直接出向いて情報提供する手段を考えている。(事務局)

・2-4-②-1 スポーツ合宿等の共同誘致・開催

(委員) 誘致するスポーツ、場所等は具体的に想定しているものがあるのか。

→ 詳細は事務局では分からないが、プロスポーツではなく大学のサークルなどの趣味の範囲で活動する団体を対象としたものである。競技の種類や宿泊形態などの詳細は今後話し合われるものと理解している。(事務局)

・2-4-③-1 物産館ネットワークの構築

(委員) それぞれに物産館は存在しているので、関係市町に玉東町や南関町も含めてよいのではないか。

→ 詳細は分からないが、玉東町も南関町も一緒に検討を始めて、協議を重ねる過程で玉名市と和水町の物産館が取り組むことになったものである。(事務局)

(委員) 地元野菜の販売については、物産館だけではないので、スーパーなども含め販売全体での勉強会などはできないか。

・3-1-①-1 合同基礎研修事業

(委員) 関係市町間での職員交流(人事交流)を行う考えはないか。

→ 県と市町との人事交流は行われているが、圏域内では現在のところ考えていない。(事務局)

4 その他

事務局から、共生ビジョン策定までの今後のスケジュールを説明し、次回の共生ビジョン懇談会を2月13日(月曜日)午後6時から予定していることを連絡。

5 閉会